

Figure 1. Generation of iPS Cells from MEF Cultures via 24 Factors

- (A) Strategy to test candidate factors.
- (B) G418-resistant colonies were observed 16 days after transduction with a combination of 24 factors. Cells were stained with crystal violet.
- (C) Morphology of ES cells, iPS cells (iPS-MEF24, clone 1-9), and MEFs. Scale bars = 200 μ m.
- (D) Growth curves of ES cells, iPS cells (iPS-MEF24, clones 2-1-4), and MEFs. 3×10^5 cells were passaged every 3 days into each well of six-well plates.
- (E) RT-PCR analysis of ES cell marker genes in iPS cells (iPS-MEF24, clones 1-5, 1-9, and 1-18), ES cells, and MEFs. *Nat1* was used as a loading control.
- (F) Bisulfite genomic sequencing of the promoter regions of *Oct3/4*, *Nanog*, and *Fbx15* in iPS cells (iPS-MEF24, clones 1-5, 1-9, and 1-18), ES cells, and MEFs. Open circles indicate unmethylated CpG dinucleotides, while closed circles indicate methylated CpGs.

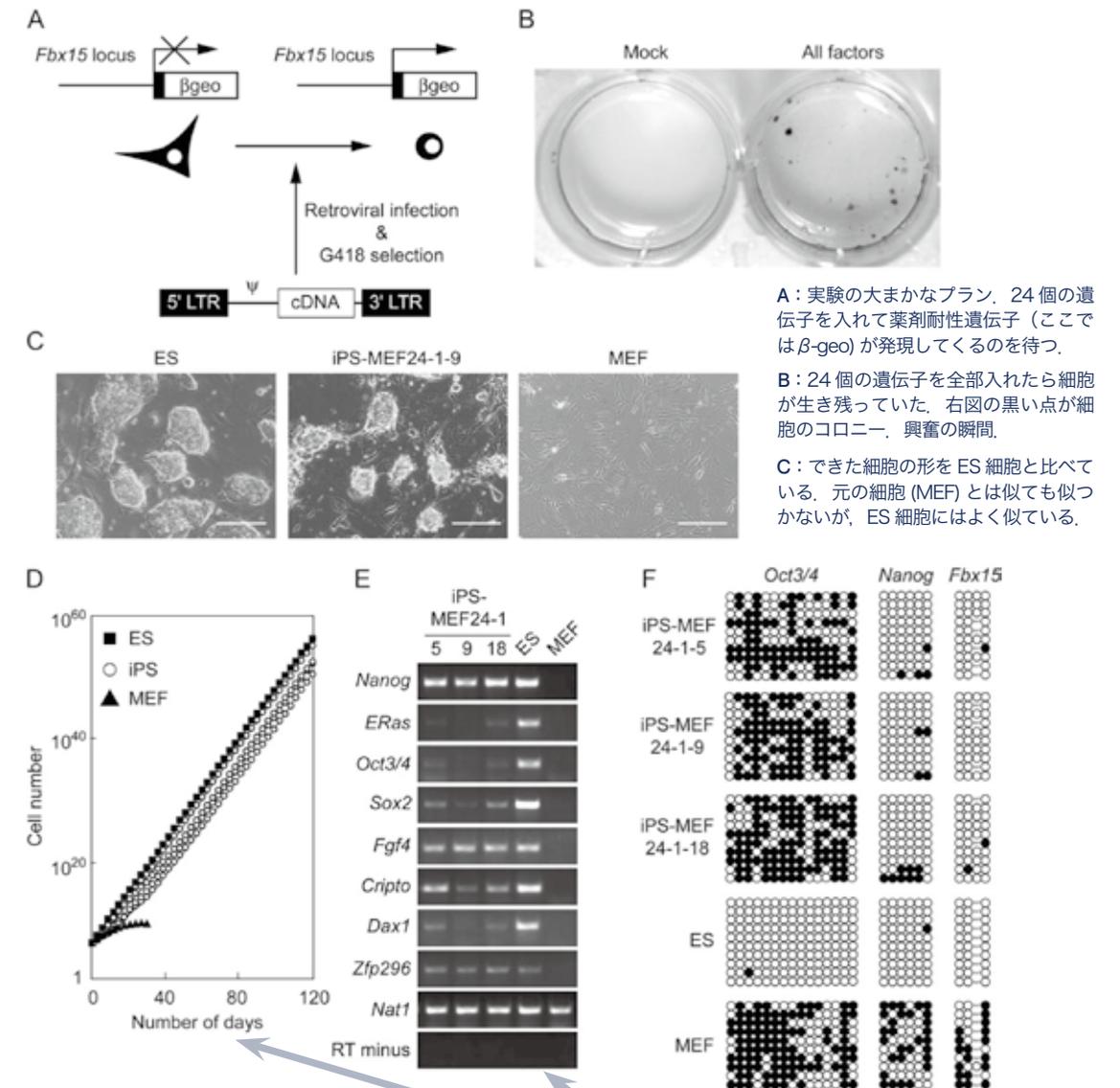


図 1. 24 の因子による MEF 培養からの iPS 細胞の作製

- (A) 候補因子の試験の戦略。
- (B) G-418 耐性コロニーが、24 の因子の組み合わせの形質導入から 16 日後に観察された。細胞はクリスタルヴァイオレットで染色した。
- (C) ES 細胞, iPS 細胞 (iPS-MEF24, クローン 1-9) および MEFs の形態。スケールバー = 200 μ m。
- (D) ES 細胞, iPS 細胞 (iPS-MEF24, クローン 2-1-4) および MEFs の増殖曲線。 3×10^5 細胞を 6 ウェルプレートの各ウェルに植え込んで、3 日毎に継代した。
- (E) iPS 細胞 (iPS-MEF24, クローン 1-5, 1-9 および 1-18), ES 細胞および MEFs の ES 細胞マーカー遺伝子の RT-PCR 分析。 *Nat1* をサンプルの装填量の確認に使用した。
- (F) iPS 細胞 (iPS-MEF24, クローン 1-5, 1-9 および 1-18), ES 細胞および MEFs における *Oct3/4*, *Nanog* および *Fbx15* のプロモーター領域の重亜硫酸塩ゲノムシーケンシング。白丸はメチル化されていない CpG ジヌクレオチドを示し、黒丸はメチル化された CpG を示す。
- DEF: できてきた細胞と ES 細胞との比較
- D: ES 細胞の培養条件では ES 細胞と同じように iPS 細胞もよく増える。
- E: しかし、未分化性の維持に関わる遺伝子の発現はここでは ES 細胞の方が高い。
- F: DNA のメチル化状態を調べている。黒丸が多いほどメチル化されている。MEF 段階では黒丸が多い (メチル化されている)。一方 ES 細胞ではほとんど白丸 (メチル化されていない) ばかり。リプログラミングとともに *Nanog*, *Fbx15* 遺伝子のメチル化が外れる事がわかる。この当時は *Oct3/4* のメチル化は外れずに残っている。これも今では外れる事がわかっていてる。